



## 「あの頃の夏」

会長 S30 島本 誠



九州学院同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？今年の夏も異常な暑さで体調維持が大変だったのではないのでしょうか。

この通信が皆様のお目に触れる頃には少しは過ごしやすくなっていることを願いながら

本稿を書いております。

今、高校野球ではベスト8が出揃い、連日の好カードで観る者にとっては一番楽しめる時期です。ところが残念なことに今夏は母校の出場もなく、母校愛から郷土愛にシフトして応援した熊工もすでに敗退、野球の結果も然して興味のないものになってしまいました。とは言え、今も昔も変わらずきびきびとした高校球児達の動きには「この暑い中、よく頑張っているなあ」と本当に感心させられます。当然日頃の練習で暑さに慣れていることもあると思いますが、水分の補給や適度な休息など科学的な要素を取り入れた体調管理がしっかりとなされていることが窺えます。

思い起こせば 36、7 年前、私達がちょうど高校生の頃、運動中の水分補給の是非が大きく転換した時期がありました。安易に水を飲まないことが精神面を鍛えるという部分で幾分かの効果？があったにせよ、当時のスポーツ界全般に言えることとして運動中の水分補給は非常に困難な事でした。

「水ば飲むな！」と言われても「水ば飲め！」と言われることはなかったのです。そのような環境下で、なんとか体を維持できた一因としては、例えば柔道部ですと水道で顔を洗うふりをして水を飲むとか。

(この場合、両手で掬った水はほとんど口から吸い取られ、顔はただこするだけとなります。道場

脇の水道のため先生の日もあり演技力が必要とされます。) また野球部の場合、反れた打球を追って死角となる生垣の所まで走り、あらかじめ隠しておいた瓶入りの水を素早く飲むとか。(これはまず打球が反れることと、それを追うのが自分であることが前提となりますので飲む確率は非常に低くなります。さらに仕込みが大変です。) このように滑稽なほどの涙ぐましい策をそれぞれの運動部で講じていたものです。もちろん監督さん方も承知の上で黙認されておられたのだと思います。

このような時代に革命のごとく現れたのが、運動中の水分補給は必要不可欠であり競技力向上にも大きな効果をもたらす。という理論です。

アメリカで発明された「ゲータレード」なるスポーツドリンクが国内に普及し始めたのもこの頃です。以降水分補給に関しては、それまでの概念が大きく変わり、スポーツ界のみならず一般の人達にとっても非常に大切なこととして受け止められるようになりました。

冒頭から長い余談となり失礼を致しました。

さて、今年の東京九学会総会は来る 10 月 19 日土曜日、夕刻より港区芝の東京グランドホテルにて開催されます。今年も熊本より懐かしい先生方はじめ同窓会や P T A の有志の方々をお招きすることになっております。そして今や国際的な人気キャラクターとなり、近年熊本にとってこれ程の貢献を成した者があつたであろうかとも言われる、おなじみのクマもんも登場する予定となっております。

旧制時代の大先輩から、新卒者に至るまで毎年ご参加いただく同窓生には 60 歳以上の年齢差があります。ところが九学という共通項のおかげで話題に事欠くこともなく、思い出が風化する事ありません。いつも楽しく開催させていただいております。

当日皆様と元気で会えます事を心よりお待ちしております。

## 九州学院チアダンス部【Miriams ミリアムズ】

S49 吉岡 佑佳子

九州学院チアダンス部は現在、高校生 21 名、中学生 13 名 計 34 名の部員がおります。



チアダンス大会

体育館 1 階（以前トレーニングセンターがあった場所）がダンススタジオになり、中学高校合同で毎日練習に励んでおります。チアダンス部は 14 年前の甲子園出場の時に、当時在学中だった妹が中心となり同好会として立ち上げ、5 年前、部に昇格しました。私は九州学院みどり幼稚園に勤め始めたばかりで、ダンスや学生時代にチアの経験があった為、指導を引き受け、現在に至ります。

【チアダンス】とは、チアリーディングから派生したスポーツで、リーディングの中のダンスの部分を独立させた競技で、組体操のようなアクロバティックなものを含みません。約 2 分半の時間内でダンスの技術やチームワーク、チアスピリットなどが採点の対象になります。競技者の笑顔や迫力のある演技によって見る方を元気づけ、また競技者自身も元気になれるスポーツです。

チアダンスで一番大切なことは、【チアスピリット】です。チアリーダーが持つべき精神的教養で、このスピリットが、普通のダンスとチアダンスの大きな違いとも言えます。

チアリーダーとは、観客や選手を応援し、励まし、元気づける役。その為には自らの努力を惜しまないのが真のチアリーダーです。笑顔・明るさ・前向きに頑張る気持ち・人をサポートする思い・協調性・人を敬う心。また、人を応援するという立場は、

他の人が憧れる、手本となるような存在でなければなりません。このことは、入部当初より、生徒達に色々な場面で何度も何度も話していきます。

チーム名の【Miriams ミリアムズ】とは、聖書の中で初めにダンスを踊った女性の名前で、モーセの姉で女性リーダーでした。ミリアムのように、九州学院の女子生徒のリーダーとなり、よき手本となるような女性に育って欲しいという思いでつけました。

全国大会でも、やっと成績を残せるようになり、入部を希望して九学を受験してくる生徒も増え、とても嬉しく思います。将来生徒たちが、笑顔が素敵で、他の人の事を理解し、思いやり、優しさや品格のある女性になって欲しいと願っています。

全国大会出場で上京した時は、いつも東京九学会、関西九学会皆様に応援して頂き、本当に感謝しております。練習場所を探して提供して頂いたり、応援に来て頂いたり、差し入れを頂いたり……。九学卒業生の方達の愛情、沢山の方のお支えの中でこうして活動でき、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、全国優勝めざし、頑張ります。GO Miriams！！

これからもどうぞよろしくお願い致します。

『笑顔で挨拶』これはチアダンス部が一番大事にしている事です。また『元気に挨拶』は幼稚園で大事にしている事です。チアダンスは表現型のスポーツなので、表情はとても重要です。入部したての生徒は、まず笑顔ができません。大きな声で挨拶もできません。でも、先輩たちの姿を見て 3ヶ月経つ頃には、笑顔がでるようになります。

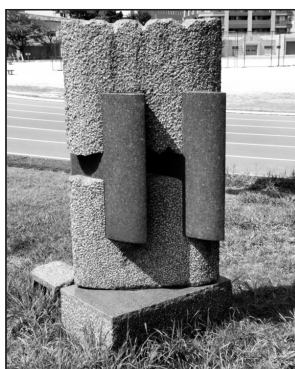


GO Miriams !

九学会の更なる絆を!!

顧問 連川 悠一

(S11)



学院のモニュメント その6

「翔く」

橋本恵史氏 S23 作

九州学院同窓会 参与  
小崎義昭 (S4)



## 九学最高! 日々の生活を満喫! ～豪州の姉妹校から留学生ふたり～

同窓会広報委員長 小手川 勲

現在九州学院にはオーストラリアのアデレード市にある、インマヌエル・カレッジから二人の交換留学生が高校二年に在籍し、クラスで授業を受け、またクラブ活動に参加したりで大変有意義な生活を送っています。二人は生徒の家などにホームステイをして来年1月頃までの1年間留学の予定です。

インマヌエル・カレッジと九州学院、ルーテル学院(旧九州女学院)の3校は、1990年に正式に姉妹校となり、留学生の交換や研修団の相互派遣などを通して交流を続けています。

そのほかに、昨年9月から今年6月まではフランス、フィンランドから2名が留学しており、1月から6月までの半年間は4名の外国人留学生が在学し、国際色豊かな学院のイメージをアピールすることが出来ました。

今般、「東九通信」掲載のために交換留学生への執筆の依頼を受け、オーストラリアのふたりに相談したところ、快く日本語で書いてもらいました。加えて、欧州からの留学生のお別れスピーチの一部もご紹介したいと思います。

### ○エイドリアン・ワイネット君 オーストラリア/18歳



私は今年の1月から九州学院で生活しています。日本語の勉強のために、交換留学生として九州学院に来ました。

最初に、私には九州学院の雰囲気になれるのがたいへんで、日本語ばかり話すことはちょっときつかったです。けれども、日本語を話せるようになりたかったので弓道部に入りました。そこでは日本語のほかに、日本の心と精神のことを学ぶことができます。今も弓道部に入っていて、本当の九州学院の生活を送っています。

九州学院のおかげで、色々なことを経験することができました。特に東京の修学旅行は一番印象に残っています。あの時は、高校二年生がたくさん一緒に行きましたので、多くの友達が出来ました。留学生として、勉強ばかりでなく友達を作ることも大事な事だと思います。これから楽しみにしていることは体育祭と文化祭で、九州学院の強い選手と一緒に

に私は体育祭に出たいと思います。来年1月までの九学での生活を、楽しみながら頑張ります。

### ○アンディー・マラルド君 オーストラリア/18歳



こんにちは。インマヌエル・カレッジのアンディーです。私は小学生の頃から日本語を勉強しています。オーストラリアでバレー部とバスケットボール部のメンバーでした。今、九州学院のバレー部に入っています。

2年前、訪日研修団の一員として日本に来てルーテル学院の生徒さんに家でホームステイさせてもらい、その時に会った友達とまた遊びに行きたかったことと、日本語が上手になるために、また日本に行きたいと思っていたのです。

九学の生活はとっても楽しいです。一番楽しいことは部活だと思います。オーストラリアの部活は週に2回の練習しかなくて、練習は1時間です。だいたい週に一回試合があります。だから、日本では毎日3時間も練習するのにびっくりしました。それなのに、本当にバレー部に入ってよかったと思います。なぜなら、一番仲がいい友達はバレー部のメンバーです。もう8ヶ月過ごしてしまいましたが、残りの4ヶ月もとても楽しみです。

### ○ジュリエット・クロードさん フランス/18歳



私はこの一年間熊本で過ごせてとても幸せでした。九州学院は私を救ってくれました。みんなに感謝をするだけです。～中略～ 私はまた必ず日本に帰ってきますので、これからよろしくお願いします。ありがとうございました。

### ○アントン・エスカネン君 フィンランド/18歳



最初、熊本に決まった時にそこはどこ?と、とても不安でした。でも、熊本にきて、ほんとうにその素晴らしさがわかりました。～中略～ 今は九州学院で過ごせた1年間にとても感謝しています。またお会いしましょう!



**旭光 有限会社**

代表取締役 **緒方 榮喜 (S8回卒)**

〒273-0041 千葉県船橋市旭町3-14-1  
TEL(047)439-5669 FAX(047)439-5686  
E-mail:kyokuko-86f-ogt@hkg.odn.ne.jp

寿司・季節料理  
くまもと料理

**あづま**

TEL 03-3213-2728(休日:土・日・祝)

理 容

**ニュー東京**

TEL 03-3215-2538(休日:日・祝)

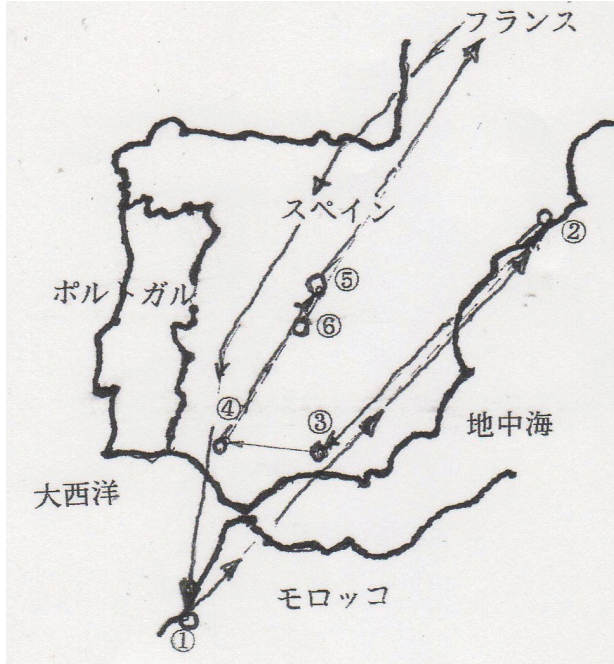
九学出身の方は2,400円(通常3,000円)のサービス料金でお待ち致しております。

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1) **吉村 勉 (S9)**

# 東京久憎会 モロッコ・スペイン旅行

S6 谷山準二

2013年東京久憎会の海外ツアーも、回を重ねて今回で9回目となりました。当初から家族ぐるみの旅行をと計画しましたところ、他の学年の方々にも賛同いただき。毎回30余名のメンバーでの楽しいツアーが続けられています。これまで緒方栄喜氏(S8)夫妻、須子政春氏(S8)、故内空閑裕明元幹事長(S20)夫妻の方々に参加して頂いております。



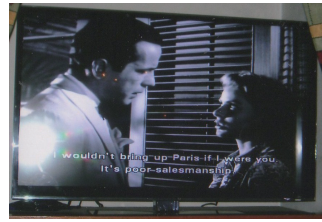
6月4日~11日の行程

- ①カサブランカ ②バルセロナ ③グラナダ
- ④セビリア ⑤マドリッド ⑥トレド

今回2013年のツアーは、当初から参加者がまらず、いったんは実現を諦めかけていたのですが、東京九学会の中の緒方栄喜氏夫妻、前会長の連川悠一氏(S11)、故内空閑氏夫人と家族の皆さんのご参加を得て、20名+添乗員夫妻の合計22名のツアーとなりました。

6月4日1日目、午前11時40分 成田発(エアフランス)パリのドゴール空港を経由して15時間を要し、アフリカ北端部モロッコのカサブランカ到着。

ツアーの初日、記念すべきアフリカ大陸への第一歩でした。(時差7時間)モロッコ第一の商業都市は、ポルトガル統治時代の中世の歴史地区と近代都市



往年の名画 カサブランカ

の市街地とになる街で、ヨーロッパの中の一都市といった感じのする都市です。(世界で三番目に大きいハッサン2世モスク等)昼食に入った洒落たレストランで、古い映画(カサブランカ)の日本語のポスター(登場人物イングリッドバーグマン、ハンフリーボガード)が貼られ、映画をテレビで上映していました。(只、オーナーの趣味とか)

3日目、空路ジブラルタル海峡を越えてスペインのバルセロナへ。



フレシネ社訪問

4日目、午前中、スパークリングワインのフレシネ社(本社工場)を訪問見学、(緒方昭義君の仕事上の関係で、フレシネ社訪問は、今回で2度目になりましたが、その都度昼食の接待を受け、旅行中ワインの全てを提供していただき、訪問記念のお土産までいただきました。感激でした。)



サグラダファミリア

午後、モンセラ観光、モンセラット修道院(黒いマリヤ)入場、サクラダファミリア(聖家族教会:建設途上、新しい感覚の福音の物語の彫刻が印象的)等等 見学。



アルハンブラの想い出

5日目、空路グラナダへ移動、イザベル女王がコロンブスを引見したアルハンブラ宮殿観光(庭園はバラが花満開)。

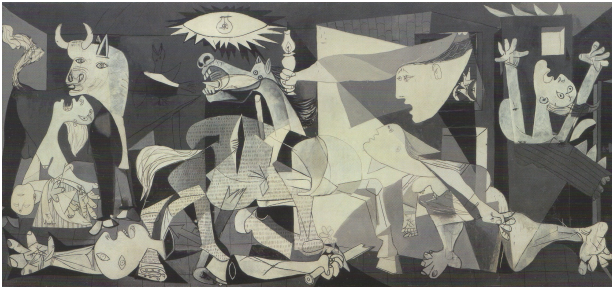
## 九州学院 高等学校 昭和29年卒業生・同期生(S6, J4)首都圏在住者の会

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| 井澤浩一 | 岩城之博 | 岩本秀雄 | 衛藤 潤 |
| 岡田浩二 | 緒方昭義 | 小田桐貞 | 尾上 賢 |
| 亀尾要道 | 工藤正路 | 斉藤穂積 | 佐藤公治 |
| 渋谷青彬 | 調 匡司 | 田浦幹彦 | 谷山準二 |

久憎会(久闊を憎む<sup>にく</sup>二九年の会)は 随時 セミナ、見学会、国内・海外旅行などを行っています。

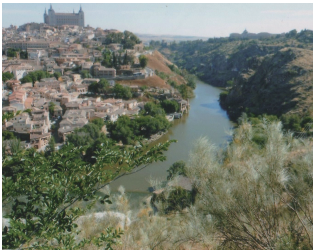


夜、洞窟内のフラメンコデイナーショーを満喫。  
**6日目**、午前、バス移動でグラナダのミハスへ市内観光（スペインの白い村等）。午後、セビリアへ、セビリア観光（カテドラル入場、ヒラルダの塔）。床屋が多いのかと思ったがそうでもない。



ピカソのゲルニカは、3.5m×7.8mの大作

**7日目**、午前、スペインの高速列車 AVE で首都マドリッドへ、午後、昼食後、マドリッド市内観光（国立ソフィア王妃美術センター：ゲルニカを観る、スペイン広場、王宮、グランビア等）マドリッド泊。



トレドの風景

**8日目**、午前、午後、トレド観光、カテドラル入場、サントトメ教会（世界三大名画の一つと言われるエルグレコの「オルガス伯の埋葬」を観る）等。夜、空路パリへ（帰国の途に就きました）。

パリのドゴール空港でトラブル発生（空港管制塔のストにより足止め）この日予定外のパリ泊となりました。（ドゴール空港は、深夜でメンバー皆くたびれ果て、床にシート広げホテルが決まるまでダウンしていました。）

**9日目**、1日遅れで成田にむかって出発。（おかげで、旅の疲れが幾分和らいだようでした）

**6月13日**成田空港帰着。

私たちの海外ツアーでは、その都度何かしらトラブルに遭遇します。（何でだろう?!）

帰国しましてから、数日後、写真交換会（反省会を兼ねて）を行いました。このツアーは、もうこれで最後だと、お互いに話し合っていたのですが、会が始まると同時に、来年はどこにするんだ、と誰からともなく声がかかっていました。懲りない面々ではあります。

## 「ふくしま 311 復興桜」

S6 反後堯雄君の(株)クリーンテック

東京九学会の一員である S6 反後堯雄が創業し、会長を務める株式会社クリーンテックは、1985年、医療機関向けに医療機器・各種資器材のリース及びメンテナンス会社として発足し、各病院より医療産業廃棄物処理・運搬に関する問題提示を受けたことを機に、各種産業廃棄物処理の業界に進出し、今や、これが主力事業となっています。平成13年、



飯坂クリーンサイト

飯坂クリーンサイト（産業廃棄物最終処分所及び排水処理施設）を平成13年福島県飯坂地区にオープンし現在操業中です。その福島県は、23年3月11日発生地震・津波による原子力発電所事故に遭遇し大変な被害を受けました。当クリーンテックは、平成22年から第2期処分場建設を行っており、この度、その竣工予定区画地内に、春には一斉に咲き誇る桜を植樹しました。



ふくしま 311 復興桜植樹祭にて

一人でも多くの方々がご覧になって、少しでも元気や勇気を、また安らぎを取り戻していただき、今後この場所が皆々様の心の拠り所となりますように切にお祈りする次第です。併せて、最も大切な水を管理する処理施設を設置しようとしています。

S6 谷山準二 記

**東京久憎会は 来年春 熊本で 結成 60周年記念大会開催 を計画しています。**

反後堯雄  
鍋島 任  
宮田康滋  
小堀通治

種子島経  
藤森 滋  
村田秀夫  
星子敏治

堤 達也  
牧野克彦  
安岡和男  
渡辺芳孝

堤 誠一  
宮尾睦朗  
横田従治

(広告 順不同)

九学同窓生の参加を歓迎します。 contact to 谷山 090-4923-0344 尾上 090-1995-5504

# 「働く」を考える = 「生きる」

S57 柴田 大輔

私が社会人となり数年を経た今、一番興味のある事は「どう働く」「どう生きる」などの答えが無数に点在する事について様々な文献を読み、様々な人と出会い話をし、考えることです。

この様な「働く」「生きる」といった話は、多くの方が色々な切り口で世の中に発信されています。しかし、この類の話は個々人の価値観に帰依する部分が大きく、その人が育った環境(地理的・文化的風土)、見てきたもの、経験したこと、いま在る現状など、極めて個人的なバックグラウンドに裏付けられた、自分自身を形成している価値観によって無意識に判断されます。つまり、無意識に「私とあなたは違う。みんな違うのだし、人それぞれでいいじゃない?」となることが多いのです。それもそのはず、この「どう生きるべきか」という考え方に、万国共通の正解は無いからです。

しかし、私は、答えは何かと問う前に、この「どう生きるのか」という事に対して、自分の心の声に正直に、真正面からぶつかっていない人があまりに多い気がしています。

この“生きる”という事は、何もしなくても時を刻むごとに進んでいきます。意識をしなくても何となく過ぎていってしまいます。目を背けることだってできます。しかし、その様に惰性的に生きていて、日々の生活のなかに、不満を抱えている人が多すぎると私は思います。それは、私たちが自分で真正面から“私が思う私が生きること”にぶつかり、考え、悩み、選び、自分で決断していないからです。

私たちは皆平等に、1日に24時間を与えられています。そしてその大部分を、仕事という名の活動をしながら過ごしています。現実的に、「働く」と「生きる」ことを切り離して考えることはできません。つまり、「どう働くか」「何の仕事をして過ごすのか」ということが、“自分自身の生きること”と直結しているのです。だったら、何をして1日24時間を、どんな「働く」や「仕事」に自分の“命の時間”を費やすのかという事を考えられずにはられません。私たちの仕事は、「志事」か「労働」なのかということです。



立命館アジア太平洋大学にて、7カ国学生と

私は、日本はその「何をして」という選択肢が非常に豊かな国だと思っています。これは、縁があり学びを経た母校の“立命館アジア太平洋大学”で世界の様々な情勢を知り、また自分自身アジアの国々をこの目で見てきた中で、日本という国の素晴らしさを改めて再確認し分かったことです。

しかし、なぜかそんな選択肢の多い国なのに、とても多くの方が、「働く」ことや「生きる」ことになると、自分で自分の選択肢を狭めてしまう。高校又は大学を卒業し、就職活動を経て、とりあえず入社し3年は…とあって働く。「何か違う」と思いながら働く方も多いでしょう。私は、だったらすぐに辞めてでも、120%自分が追い求める働き方、仕事、生き方を突き詰めるべきだと思います。いつ明日が来なくなるなんて誰にも分からないのですから。

もちろん中には、「私はいま全力で自分のやりたいことを出来ている!」「全力で未来に繋がる今を生きている!」という方もいらっしゃると思います。そのような方は、目の輝きや、纏うオーラの様な物が違う気がします。そして、何より自分で選び決断した道故に、自分の生き方に自信と責任を持っている。

最近では、フリーランスやノマドに代表されるように、自分で自身の働き方をデザインして生きている方も、都市部を中心にどんどん増加しています。自分の生き方や働き方は、自分で選ぶことができるし、“自分で創ることができる”時代に来ていると私は確信しています。その一つに、「起業」という道もあります。



多摩八十八ヶ所第一番札所

真言宗豊山派

安養寺

住職 島本誠永 (S30)  
東京九学会会長

〒180-0002  
東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

東京九学会

幹事長

高森 重視

(S32)



私は、これだけインターネットが発達し様々な情報を集め、発信できる現代、人の移動も極めて容易になり、私たちはその気になればどこへでも行くことが出来るし、誰とでも繋がる時代、「起業は市民権を得た」と考えています。起業と言うとどうしても難しく考えがちですが、何も会社を創ることが起業ではありません。自分たちの知識・技術・能力・人脈などを活かしてお金を生むことが出来た時、それは起業になり得ます。やり方は無数にあるのです。私は、この時代だからこそ、「自分から始める」ことを大切にすべきだと考えています。自分で「何を実現したいか」「そのためにどう生きるのか」「どんな仕事をしてどう働きたいか」ということを、誰かに与えられるものでなく、自分たちで創っていけるようになればと常に思っています。もちろん、簡単な事ではありません。その為、私は“志を共にする仲間”を見つけることが何より大切だと考えています。仲間を見つけ、共に手を取り合い、そうしてどんどん感性が同じベクトルを持つ友と繋がり、輪が広がっていく。こうして、一つの大きな“うねり”を生む事ができると考えています。

私たちは、“働くこと”や“どう生きるのか”ということ、選べる時代です。固定概念に捕われず、周囲の人たちの常識や社会の当たり前前に捕われずに、自分でもっと日本以外の広い世界も見て、自分の軸で選び、決断すべきだと思います。

最後に、私が今も心に留めている、詩があります。「茨木のり子 自分の感受性くらい」

ぜひ目を通してみてください。

## 世界を見て学ぶ

S62 前田 彩圭

私の趣味は海外旅行です。九州学院中学校の修学旅行では、韓国に行きました。そこで、現地の中学生との交流会で言葉は話せなくても一緒に歌を歌うことや、スポーツをすることで仲良くなる事が出来ました。この経験から高校卒業後の進路は国際関係を学ぶことにしました。

高校時代のボクシング部で養った、何事も恐れず、挑戦する精神を生かして大学在学中に約半年間の

アメリカ留学をしました。留学当初は文化の違いに戸惑いを隠せず、人との交流を避けていました。そんなある日、同じ寮にいるアメリカ人が私にバレーボールをしようと誘ってくれました。中学校時代はバレー部に所属していたので、勇気を振り絞って参加しました。

最初は緊張していたのですが、得点を入れることでハイタッチなどのスキンシップが取れるようになり、最後の方では自ら声を掛けるなどの行動が自然と出来るようになっていました。

その日から、私はスポーツを通してたくさんの友人を増やし自分の部屋にいる時間はほとんどありませんでした。アメリカでの長期休暇の時は、友人の実家にホームステイをしました。その時に海外の文化を肌で感じたことで、日本と全く違うことに気がつきました。アメリカではクリスマスは家族で過ごし、親がプレゼントをあげるだけでなく子供も親にプレゼントを渡していました。家族みんながみんなにプレゼントをするのです。私は、文化の違いに衝撃を受けました。このような衝撃を感じながら、それを吸収して半年間楽しく過ごしましたが、それよりもすばらしい経験が出来ました。

このアメリカ留学で日本しか知らないことは、自分の常識を狭めていると思うようになり、それからは、長期休みにベトナムや台湾などを旅しましたが、学生なので費用が安いところしか行けませんが、常に新しい発見を感じる事が出来ています。今度はマレーシアとタイに行く予定です。

今の私がいるのは、九州学院に入学したからだと思っています。スポーツの素晴らしさや挑戦する気持ち



ベトナムの子供達と



建設業許可 神奈川県知事許可(般21)第50909号

株式会社 タイセイビルド

取締役会長 齊藤 征一郎 (S12)

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理  
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス

〒233-0016 横浜市港南区下永谷5丁目71番12号  
電話 045-823-8644(代) FAX 045-826-2197  
E-Mail: taiseibirudo@if-n.ne.jp  
携帯電話 090-3223-0330



株式会社 クリーンテック

代表取締役会長

反後 堯 雄

(S-6 東京久憎会)

本社 福島県福島市飯坂町中の字赤落27番  
〒960-0261 TEL(024)541-2811 FAX(024)541-2510  
東京事務所 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階  
〒063-0712 TEL(03)6304-5010 FAX(03)5323-5750  
URL: <http://www.clean.ne.jp>

があるのも九州学院で学んで得たことだと思います。そんな私も大学四年生となり、これから社会人になるまでに旅行を通じて自身の見識を広め、九州学院でお世話になった方々に恩返しができる社会人になりたいと思います。

## 東京九学会の若手の会・KG会

S39 永谷 隆史\*



7月6日晴天に恵まれた猛暑の中、7年目を迎えるKG会を行いました。

今回はイベント企画として、初の東京湾クルーズを2班に分かれ、日の出棧橋から乗船し、浅草までの隅田川クルーズを楽しみました。初乗船の方も多く、ドリンク片手に、東京スカイツリーが徐々に身近になるにつれ、皆の顔がほころんでいたのが印象的でした。それから約1時間の浅草の自由探索時間を設け、18時から、宮田哲治氏(S43回)司会により、本来の趣旨である新卒生歓迎会を浅草雷門すぐ横のお店で、約60名の参加者で開催しました。東京九学会の島本誠会長のご挨拶、吉村勉先輩の乾杯などにより身の引き締まった会となり、それ以外の参加、若しくは協賛金を頂いた東京九学会の諸先輩方には、この書面にて御礼申し上げます。参加の中には、熊本でバスケットチームを率いておられる、岡山恭崇先輩や現役大学生、既に就職をしている若手が各面々と意気投合し、時を忘れていたようです。

今回も小手川先生には、熊本における多大なるご協力いただき、各部活、卒業生に問いかけてい

ただき有難うございました。更に新編成の幹事の方々とは、幾度となく時間を設け、そして新たな試みとしてFaceBook、LINEを活用しての告知や、集客の手ごたえを感じました。その分伝達、確認漏れがあるなど反省点はありますが、まずは、熊本より上京した新卒生の方々に寂しい、不安な思いはさせない、そのご両親を安心させる会であること。そして、東京九学会に繋がることにより、就職活動や、各業種の情報が共有できるKG会でありたいと思っております。

次回の10月19日開催の東京九学会に向けて更なる活動は続けています。是非とも、東京九学若手の会・KG会の存在を少しでも多くの方々にお伝えくだされば幸いです。

\*KG会代表

### 日高邦廣先輩を偲んで

今でも、寂しさがこみ上げて来ます。豪快で、優しさが一杯だった日高先輩、今年の3月初出場した母校九学ラグビー部の全国大会初戦での激励は、味方もすくむ、会場一のヤジ将軍でした。本来なら、外に出れる体ではない重病にもかかわらず、会長としての責務と、母校悲願の選抜大会初出場は、待ちに待たれた舞台でした。激励が届いたか、初出場ながら2勝1敗の好成績をおさめてくれました。それから、1ヶ月を過ぎた夏を思わせる暑い日に、太陽の様に明るかった日高先輩は旅たちになられました。先輩色々有難う御座いました。そして、天国より後輩たちを花園にお導き願います。

幹事長 S32 高森 重視

### 神奈川支部からお知らせ

11月9日(土)横浜ガーデンにて神奈川会を開きます。

お礼:暑い中、皆様 ご執筆ご協力有難う御座いました。  
S6 尾上、S30 高木、S32 本郷、S54 Berzins、S56 徳満

九學東京若手の会

# KG会

URL : <http://www.kg-kai.jp/>

**九學東京若手の会 KG会**      代表 永谷 隆史(S39)   事務局 坂本(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オビカ内      メール用QRコード  
TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp      連絡はこちらから

Creating Fun Together

株式会社 オビカ

岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>